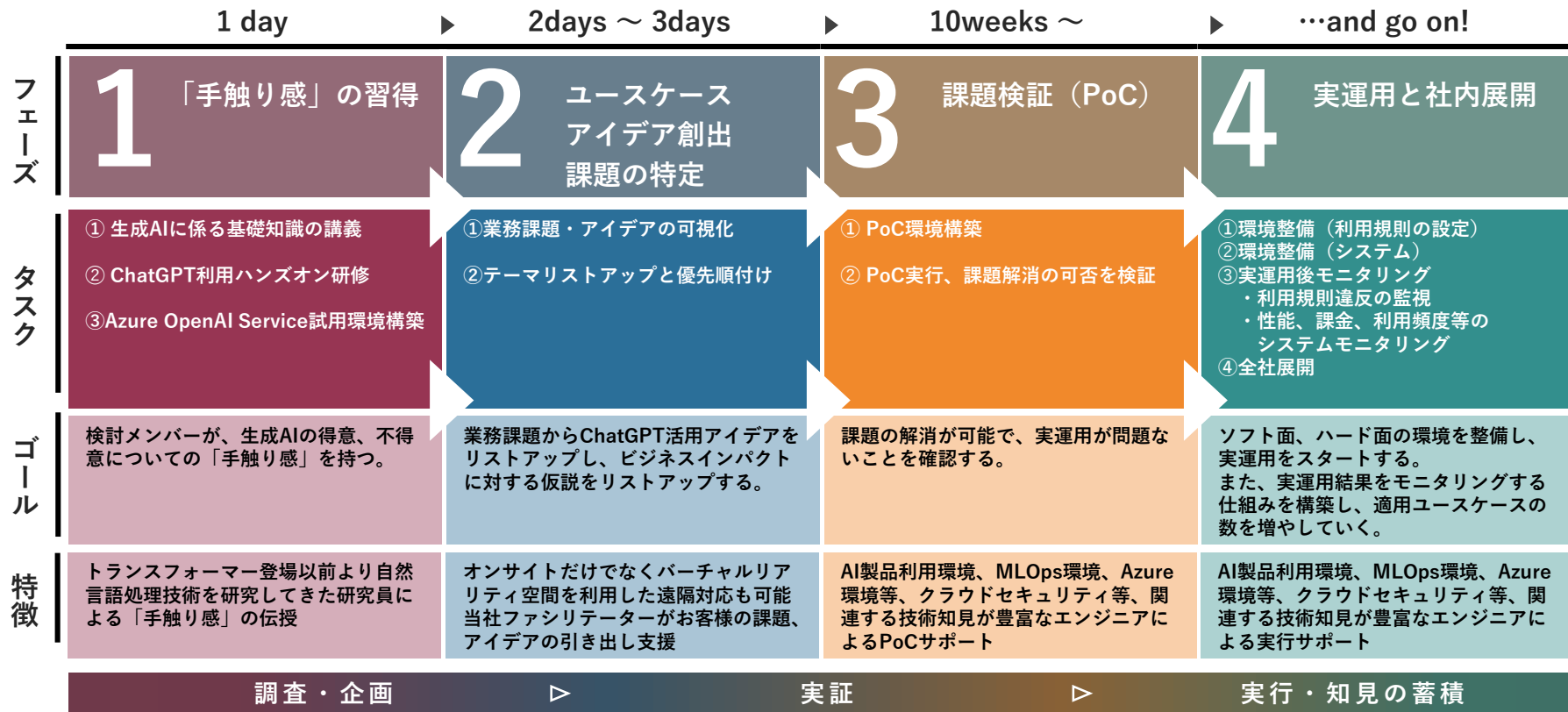


# 生成型AI / ChatGPT活用のすすめ方



# 1 「手触り感」の習得

## ① 生成AIに係る基礎知識の講義

1 day

# 1 「手触り感」の習得

- ① 生成AIに係る基礎知識の講義
- ② ChatGPT利用ハンズオン研修
- ③ Azure OpenAI Service試用環境構築

検討メンバーが、生成AIの得意、不得意についての「手触り感」を持つ。

トランスフォーマー登場以前より自然言語処理技術を研究してきた研究員による「手触り感」の伝授

### 所要時間

2h

### 実施内容

弊社の生成AI研究員による講義・議論

### 効果

生成AI技術の概要理解

### 形式・成果

講義受講型  
講義中心で明確な作成物はありません

### 講義アジェンダ（イメージ）

#### 1. そもそもAIって何？

- ・ AIって何？
- ・ 教師あり機会学習

#### 2. GPTファミリーの技術概要

- ・ GPT系モデルの入出力パターン
- ・ 学習の概要（GPT関連の歴史）

#### 3. 何が新しいのか？

- ・ 不可能を可能にした技術
- ・ 学習データ量の問題
- ・ 問題難易度の問題

#### 4. ChatGPTを使うには？

- ・ そのChatGPTとは、どのChatGPT？
- ・ ChatGPTを利用する4つの方法と注意点
- ・ APIで提供される主要モデル

#### 5. 適する使い方、適さない使い方

- ・ GPT系モデルの長所
- ・ GPT系モデルの短所
- ・ プロンプトインジェクション脆弱性
- ・ 適する使い方
- ・ よくみる活用領域

#### 6. 実用化するうえで持つとよい観点

- ・ 近未来：道具を使うLLM
- ・ 現在の例：検索エンジンを使うLLM
- ・ 今後の動きの予想

### +業界別ユースケース集等

# 1 「手触り感」の習得 ② ChatGPT利用ハンズオン研修

1 day

## 1 「手触り感」の習得

- ① 生成AIに係る基礎知識の講義
- ② ChatGPT利用ハンズオン研修
- ③ Azure OpenAI Service試用環境構築

検討メンバーが、生成AIの得意、不得意についての「手触り感」を持つ。

トランスフォーマー登場以前より自然言語処理技術を研究してきた研究員による「手触り感」の伝授

### 所要時間

1h

### 実施内容

参加者によるChatGPT活用体験

### 効果

現時点の生成AIを操作することによる手触り感の習得

### 形式・成果

ハンズオン演習型体験中心で明確な作成物はありません

### 実行タスク（仕事）

ニーズ → タスク

知りたい → 情報検索

把握したい → 文書要約

思考整理したい → 案や思考観点の列挙

例が欲しい → 指定トピックに係る例文作成

作文したい → 文書作成・校正  
文書翻訳

プログラミングしたい → コード作成  
コード校正

コード解説

### プロンプトエンジニアリング

頼み方

最新のモデルを使用する

指示をプロンプトの最初に配置し、### または""で指示と文脈を分ける

望む文脈、結果、長さ、形式、スタイルなどについて具体的に詳細に記述する

例を使って望む出力形式を明示する

ゼロショットから始め、効果がなければファインチューニングを行う

曖昧で不正確な表現を減らす

やってほしくないことだけでなく、代わりにやってほしいことも記述する

コード生成には、特定のパターンに誘導する「leading words」を使用する

×

# 1 「手触り感」の習得

## ③ Azure OpenAI Service 試用環境構築

1 day

# 1 「手触り感」の習得

- ① 生成AIに係る基礎知識の講義
- ② ChatGPT利用ハンズオン研修
- ③ Azure OpenAI Service試用環境構築

検討メンバーが、生成AIの得意、不得意についての「手触り感」を持つ。

トランスフォーマー登場以前より自然言語処理技術を研究してきた研究員による「手触り感」の伝授

### 所要時間

実装範囲に依存

### 実施内容

ChatGPT利用環境整備

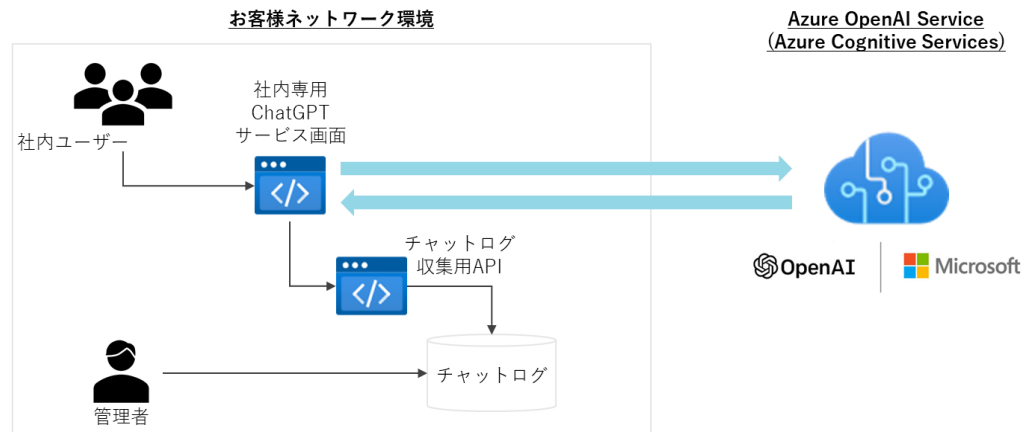
### 効果

社内利用促進、ユーザの理解促進、活用アイデア実現の下地作り

### 形式・成果

試用環境用ドキュメント

## 構築環境イメージと進め方



下記構成はイメージです。  
お客様環境に合わせて、  
カスタマイズします

### 要件確認

システム環境  
セキュリティ  
運用既往

### 調達

Azure契約

### 環境構築

Azure環境構築  
ドキュメント作成

### フォロー

問合せ対応

## 2 ユースケース創出 & 課題特定

## ユースケースを特定し、活用アイデアをリストアップ

▶ 2days ~ 3days

## 2 ユースケース アイデア創出 課題の特定

- ① 業務課題・アイデアの可視化
- ② テーマリストアップと優先順位付け

業務課題からChatGPT活用アイデアをリストアップし、ビジネスインパクトに対する仮説をリストアップする。

オンサイトだけでなくバーチャルリアリティ空間を利用した遠隔対応も可能  
当社ファシリテーターがお客様の課題、アイデアの引き出し支援

### アイデア創出ワークショップ

AI活用、DXテーマ創出で培ったワークショップを生成型AI活用テーマに拡張

- アイディアを生み出す「**シンプルな問い**」
- アイディアを「**交流させて進化**」を促す
- リモートの場合でも「**VR空間／メタバース感**」を活用したワークショップが可能

※お客様の生成型AIの活用度合いにより、アイデアソン、ハッカソン運営のご支援も対応できます。

## 3 課題検証 (PoC)

解決課題の選定・解決策の創出を行い、PoCにより実効性を確認

▶ 10weeks ~

## 3 課題検証 (PoC)

- ① PoC環境構築
- ② PoC実行、課題解消の可否を検証

課題の解消が可能で、実運用が問題ないことを確認する。

AI製品利用環境、MLOps環境、Azure環境等、クラウドセキュリティ等、関連する技術知見が豊富なエンジニアによるPoCサポート

### 課題検証 (PoC) の推進イメージ

#### 課題抽出

ディスカッションによりお客様課題の抽出と深掘り

#### 対応案

業務フロー踏まえた対応案・優先順位と実装方法の検討

#### 環境構築・検証

検証方法・計画の作成、環境構築と検証実行

#### 成果報告

検証の取り纏め、成果報告の実施  
次フェーズ検討

# 企業内での利活用推進のポイントとご支援内容（サマリ）

ChatGPTを社内業務で利用する際のご支援をさせていただきます。

ポイント	ご支援内容
活用目的のリード	<ul style="list-style-type: none"><li>・ イシューの特定と深掘り</li><li>・ システムへの組み込み方法の検討</li></ul>
導入サポート	<ul style="list-style-type: none"><li>・ Azure OpenAI Service環境の構築</li><li>・ プロンプトの上手な活用方法</li></ul>
セキュリティ (利用者面・システム面)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報漏洩（個人情報、営業秘密）</li><li>・ アクセス制御、ログ管理</li></ul>
費用	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 利用費用の概算</li><li>・ コストの見える化</li></ul>

# ともに未来を考え 社会の新たな可能性を テクノロジーと情熱で切り拓く

社会が大きく変化し続け、  
多様性が求められている時代。  
答えは一つではありません。

必要なのは変革の力。  
一人ひとりが真価を発揮し、  
社会の可能性を広げていくことが重要です。

日鉄ソリューションズは、  
それぞれが描く未来を共有し、  
何が必要かをともに考え、実現していきます。

積み重ねた知見とテクノロジーの力、  
そして私たちの情熱で、  
新たな可能性を切り拓いていきます。



- NS Solutions、NS(ロゴ)、NSSOLは、日鉄ソリューションズ株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Azureは、米国Microsoft Corp.の米国およびその他の国における登録商標です。
- OPENAIは、米国OpenAI, Inc.及びその他の国における登録商標です。